



ぎんなん

中原小だより（中原小校長室）
第9号
H29.11.16

がんばったぎんなん祭



11月11日（土曜日）
中原校区文化祭であるぎんなん祭を開催しました。

小学生の発表は、これまで学習してきたことを劇にして発表しました。練習の時より大きな声で発表する子どももいれば、緊張して声が小さくなった子どももいたようでした。

でも、みんなしっかり発表することができました。

保育園の子どもたちの発表もとてもかわいらしい発表で、見ていて笑顔になりました。南小国中の吹奏楽部もさすが中学生らしい素晴らしい演奏でした。また、地域の方々のダンスもおそろいの衣装で素敵でした。

保護者のみなさんには、準備の会場設営から後片付けまで大変お世話になりました。ありがとうございました。



阿蘇フォーラムで学習成果発表会

ぎんなん祭の翌日12日には南小国中学校で阿蘇フォーラムが開催されました。今年は南小国町で実施という

ことでPTAの役員の方々お疲れ様でした。



午前中の研修の1つに阿蘇郡市特別支援教育研究会の学習成果発表もありました。今年は『阿蘇のくじらぐも』という劇を発表しました。

本校からもあまね君が参加しましたが、今年も参加する子どもが100人を超え、係の先生方は

大変でした。しかし、終了後見ていただいた方々からも素晴らしかったという感想をいただき、お世話をしている私としてもうれしかったです。毎年劇の最後のエンドロールを見ると、今年1年の阿蘇郡市特別支援教育研究会の行事を思い出し、ジーンと来るものがあります。

72年前の思い出を訪ねて

先週中原小学校に見かけない老紳士が来校されました。お話を聞くと終戦ごろ沖縄から学童疎開で中原小へ疎開されていた方でした。現在は大阪にお住まいで、72年前お世話になったところを一人で旅行されているということでした。橋のところからの風景は、校舎は変わったが、運動場は昔の面影が残っていて懐かしいとおっしゃっていました。



当時近所の農家にお手伝いに行くとおにぎりなどお土産をもらうことが楽しみだったということもお聞きしました。ひょっとするとおじいちゃん、おばあちゃんの中には当時のことを覚えていらっしゃるかもしれませんね。